

議会だより

2017.7.27

No. **174**

山梨県昭和町議会

<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

しょうわ



新議会構成決まる!! ②

一般質問 ここが聞きたい ⑧

追跡 あの質問どうなった ⑪⑭

議員記者が行く! ⑮

昭和町ホタル愛護会 ～昭和町のシンボル「ホタル」を守る!～

ほのかな光を放ちながら舞う源氏ホタル
(午後8時ごろ30秒露光：昭和町内で撮影)

・表題(しょうわ)については「押原中学校
1年5組 富士池 拓哉さん」の直筆です。

決まる！！

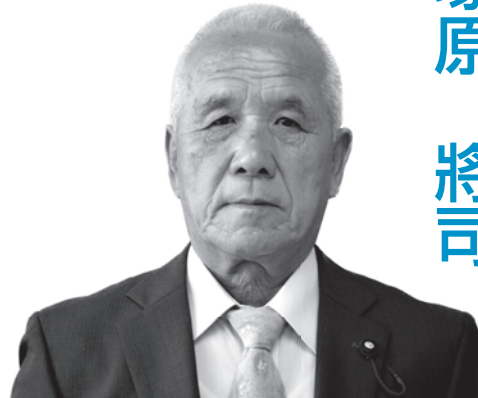
※ ◎委員長 ○副委員長



えんどう
遠藤

たつお
辰男

副議長



つかはら
塚原

まさし
将司

議長

議会構成も変わり、気持ち新たに、町民の目線で町民のために開かれた公平公正かつ円滑な議会運営に努め、町政発展のため誠心誠意努力してまいる所存であります。どうかよろしくお願い致します。

昭和町議会 議長 塚原 将司

総務常任委員会



後列：堀・塚原・田中・河田
前列：金丸・石原(高)

◎金丸 富一
◎石原 高明
河田 あけみ
田中 博愛
塚原 将司
堀 門太

◎石原 高明
◎堀 門太
林 和仁
石原 一好
金丸 富一
依田 茂巳

広報編集
特別委員会

◎中澤 康夫
◎三井 猛
他14名

地方分権
対策特別
委員会

◎依田 茂巳
◎河田 あけみ
他14名

水源対策
特別委員会

新議会構成

産業土木常任委員会



後列：遠藤・鷹野・三井
前列：薬袋・依田

鷹野	遠藤	三井	○依田	◎薬袋
一雄	辰男	猛	茂巳	義久

教育厚生常任委員会



後列：中澤・樋口・河住
前列：石原(一)・林

中澤	河住	樋口	○林	◎石原
康夫	保茂	敏夫	和仁	一好

依田	金丸	薬袋	中澤	遠藤	○石原	◎石原
茂巳	富一	義久	康夫	辰男	一好	高明

議会運営
委員会

林
和仁

監査委員

金丸	樋口	田中	塚原
富一	敏夫	博愛	將司

消防委員

平成29年
第1回
臨時会で

決まったこと

平成29年5月臨時会は、5月8日から11日までの4日間の会期で開催されました。町長から提出された専決処分の承認案件5案件のほか、人事案件1案件、その他3案件、計9案件を審議しました。

臨時会では、正副議長をはじめ、常任委員会、広域行政事務組合議員等の構成が新しくなりました。

種別	案件名	堀門太	依田茂巳	金丸富一	葉袋義久	石原一好	中澤康夫	石原高明	林和仁	鷹野一雄	河住保茂	樋口敏夫	塚原将司	田中博愛	遠藤辰男	※三井猛	河田あけみ	
承認第1号	昭和町税条例の一部を改正する条例の専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	全員賛成で承認
承認第2号	昭和町国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	全員賛成で承認
承認第3号	平成28年度昭和町一般会計補正予算(第5号)についての専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	全員賛成で承認
承認第4号	平成28年度昭和町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)についての専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	全員賛成で承認
承認第5号	平成28年度昭和町介護保険特別会計補正予算(第3号)についての専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	全員賛成で承認
委提第1号	昭和町議会の議員の定数を定める条例中改正の件 ①	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	—	○	賛成多数で可決
委提第2号	昭和町議会委員会条例中改正の件 ②	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	—	○	賛成多数で可決
同意第17号	昭和町監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	全員賛成で同意
請願第1号	町議会議長及び副議長の短期交替の抑止を求める請願 ③	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	×	賛成少数で不採択

①委提第1号について、平成21年から定数について各委員会において数多く議論してきました。

平成28年からは町民の意見の募集や、見識者等による議員定数検討委員会を設置し、増・減・現状維持という様々な町民意見を取り入れ、委員会で審議し、議員定数を現在の16人から14人へ定数減とし、平成29年6月1日から施行、次の選挙から適用とする議案が提出され、各議員が判断し、本会議にて採決しました。(賛成11：反対4)賛成多数で可決。

②委提第2号について、総務・産業土木・教育厚生3常任委員会を議員定数削減に伴い、総務教育、産業厚生2常任委員会とし、委員構成は各委員会7名また、広報編集特別委員会を広報常任委員会に改め、平成29年6月1日から施行し、次の選挙から適用とする議案が提出され、委員構成や議員定数のことを鑑みて各議員が判断し、本会議で採決しました。(賛成11：反対4)賛成多数で可決。

③請願第1号については、賛成討論・反対討論がHPの会議録(29年第1回臨時会)で、

平成29年8月下旬から閲覧可能または、事務局にて会議録が閲覧可能となっておりますので御覧下さい。

※三井 猛議員は議長のため、採決に加わっていません。

平成29年
第2回
定例会で

決まったこと

平成29年6月定例会は、6月6日から12日までの7日間の会期で開催されました。町長から提出された平成29年度補正予算3案件、条例の制定・改正3案件、人事案件1案件、その他1案件、計8案件を審議しました。

一般質問には8人の議員が12件について活発な質問・意見を展開し、町長の考えを質しました。

種別	案件名	堀門太	依田茂巳	金丸富一	葉袋義久	石原一好	中澤康夫	石原高明	林和仁	鷹野一雄	河住保茂	樋口敏夫	※塚原将司	田中博愛	遠藤辰男	三井猛	河田あけみ	
同意第18号	昭和町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で同意
議案第23号	昭和町都市基盤整備基金条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案第24号	昭和町工場立地法地域準則条例制定の件	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	賛成多数で可決
議案第25号	昭和町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案第26号	平成29年度昭和町一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案第27号	平成29年度昭和町介護サービス特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案第28号	平成29年度昭和町下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
議提第1号	展望タワー設置に関する要望書の提出を求める提案	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	—	×	×	×	×	賛成少数で否決

●議案第24号・議提第1号については、賛成討論・反対討論がHPの会議録(29年第2回定例会)で平成29年8月下旬から閲覧可能。または、事務局にて会議録が閲覧可能となっておりますので御覧下さい。
※塚原 将司議員は議長のため、採決には加わっていません。



議場での固定資産評価審査委員あいさつ



認知症スチューデントサポーター養成講座

第2回定例会(6月)委員会質疑

水源対策 特別委員会

当局より地下水採取の適正化に関する条例に基づき、井戸設置申請(築地新居)、井戸設置届出(西条)の申請があった。

井戸掘削について

鷹野議員 新たに井戸を掘削する場合、旧井戸の廃止届は出ているのか。

環境経済課長 今後、井戸の廃止届を提出するように指導する。

中澤議員 井戸の数量の現地調査はどうなっているか。

環境経済課長 今後、井戸の数量を調査し、記録を保管する。

地方分権対策特別委員会

ふるさと納税の現状は

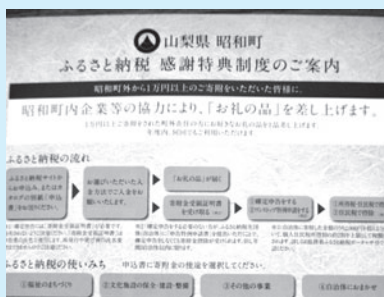
当局より報告

寄附金の3割程度の物に返礼品をすべきの指導があったため、それに従い実施していくことにした。

依田議員 ふるさと納税で町に入る額はどのくらいか。

政策秘書係長 確定はしていないが平成29年3月現在、寄附額が2,725万3,513円あり、経費が約1,300万円。

昭和町の住民から他の自治体への寄附額が約730万円程度なので、町に入る額はおよそ700万円。



ふるさと納税パンフレット



三井議員 昨年、他の自治体へ寄附している人数は何人か。

政策秘書係長 ワンストップ特例の申請があった数ですが、平成28年は274人である。

教育厚生常任委員会

資格更新について

河住議員 主任ケアマネの更新研修はどのくらいの時間か。

いきいき健康課長 47時間、大体5日間位をかけて研修する。

年に一回、県が主体で開催、実務についている者だけが更新可能。

産後うつ補助について

鷹野議員 受診補助の期間、また補助額は。

いきいき健康課長 産後うつは産後2週間、1カ月とピークが2回ある。

そこをカバーできるよう期限を産後2カ月間とした。

補助額は1回5,000円で2回まで補助、受診料超過分は自己負担となる。

給水管調査業務委託について

依田議員 学校施設整備費の押原中学校給水管調査委託業務の検査箇所は何箇所か。

学校教育課長 16箇所です。専門の機関で検査実施予定。

就学援助について

鷹野議員 就学援助の内容をホームページに載せてほしいが。

学校教育課長 今後、載せるように検討する。

産業土木常任委員会

工場立地法地域準則条例について

鷹野議員 第一種から第四種までの地域区分があり、その地域の解釈について、第四種の用途を定めない地域とは昭和町ではどのような地域のことか。

てきた中で5%以上の緑地面積という事で対応を進めていくことになった。

樋口議員 現状ある工場で特定工場の条件を満たす企業はあるか。

環境経済課長 用途を定めない地域とは、昭和町では市街化調整区域のことをさす。

環境経済課長 国母工業団地及び釜無工業団地合わせて10の企業が該当している。

依田議員 3月議会では、緑地面積25%に対して、15%とする予定との回答を受けたが、今回の制定に際して数値が5%以上に変更になった経緯は。

環境経済課長 2市1町、山梨県とも協議し



工業団地の緑地

総務常任委員会

働き方改革について

河田議員 全国的に時間外業務の多さが問題になっている。

昭和町でも職員が残業や休日出勤を行っているようであり、働き方改革を行い職員の体制等について検討していく必要があるのではないか。

総務課長 28年度の残業の集計を行い、各課長たちに配布した。

残業が多い課については業務の見直しを行うよう伝えており、人員が不足した場合は総務課に連絡するようになっている。

通学路の対応について

林議員 甲府昭和高校入口(国道)の交差点に地下通学路を新設しては、という要望を出したが、当時の対応はボールの設置のみであった。

現在、清水新居区から昭和町の学校へ通学する児童・生徒は4年前と比べて16名増えており、再度通学路としての安全性を考慮した見直しを行ってほしいが。

副町長 現状では父兄の方々がボランティアとして登下校の時生徒の安全のため、交通指導を行っている。

交通指導員の設置等の議論をした中で安全面についての改善は行っていない。



甲府昭和高校入口交差点

総務常任委員長会審査結果

議提第1号 展望タワー設置に関する要望書の提出を求める提案が、議題として出され総務常任委員会委員の採決の結果、賛成1名・反対4名で否決された。

第2回定例会(6月)委員会質疑

施策を問う

ここが聞きたい

一般質問の内容は議会事務局で閲覧できます。

一般質問

Q 自助、共助による
地域防災力の強化を

A 各地区で「防災講話」を実施し、
地域防災力の向上に努める

依田

今年度より実践的防災教育を推進していくと思われるが、いづどのような人を対象に、どんな内容で進めていくのか。

町長

今年度は危機管理担当職員を中心に、役場職員等を対象にした実践的な避難所開設・運営訓練等を実施していく。

また、地域防災力強化に向けて、各地区で「防災講話」を実施していく。



依田 茂巳 議員

再質問

初動対応力の向上はどのような内容で、どんな人を対象に訓練を行うのか。
また、地域住民に対しては、どんな内容で進めていくのか。

企画財政課長

行政の初動対応は課題の一つであり、6月中に役場職員を対象に実践的な避難所訓練を行う。

また、8月27日の町の総合防災訓練までに各区の役員会などにおもむき、自助、共助の意識の向上に取り組んでいく。



職員を対象にした机上訓練

Q 子育て支援に関する
総合サービス拠点
はどのような施設を
設けるのか

A 町内空き施設等の
再活用も考えながら
検討している

依田

(仮称)子育て支援に関する総合サービス拠点について、いづどこに、どのような施設を設けるのか。

町長

平成32年度の整備を目安とし、場所は現在、町内の空き施設等の再活用も考えながら検討している。

親御さんの居場所としての機能を持ちながら、総合的な相談機能も有し、子育て支援の総合的なサービスの拠点となる施設を考えている。

Q 生涯学習館の建設
などについての
具体的な進め方は

A 住民意見の反映の
仕方も含め、柔軟に
対応していきたい

依田

(仮称)生涯学習館の建設と

押原中学校の校舎増築などに向けて、建設検討委員会を設置することだが、住民ワークショップも住民ニーズを把握する有効な手法の一つだと考える。

建設の検討は具体的にいつ、どのような進め方で進めていくのか。

町長

生涯学習館は、中央公民館や図書館の2つの施設の機能を合わせ持った施設の整備も視野に入れている。

ワークショップや検討委員会の立ち上げなど、住民意見の反映の仕方も含めて、柔軟に対応していきたい。

再質問

建設において民間との連携についてどう考えているか。

また過程において議会との意見交流も大切だが、どう考えているか。

生涯学習課長

具体的な整備内容等が決まったら、民間との連携も視野に入れながら調査研究していきたい。議会には、進捗状況等も含め、作業工程の節目ごとに報告していきたい。

Q

国民健康保険法改正への対応は

A

国保運営が混乱しないよう十分な準備を進めている



いしはら たかひろ
石原 高明 議員

石原（高）

国民健康保険法の改正により、国保運営が混乱しないための対策は。

また、保険料の算定は3方式に移行するのか。移行するのであれば、何年度から何年かけて行うのか。

制度改正に伴い条例改正も必要となるが、条例はいつ頃の議会に提案する予定なのか。

町長

システムベンダー（システム開発業者）と情報交換を十分に行い、制度改正に関する研修

会等にも積極的に参加して準備を進めている。

保険料の算定については、平成30年度からの新制度施行をもって資産割を除いた3方式への移行を考えている。

また条例改正については、平成30年1月から2月に県が市町村に各市町村の納付金、標準保険料率を確定、通知する見通しなので、3月議会、または6月議会に上程することになる。

Q 教員の多忙化を改善する取り組みは

A 改善計画の策定や会議等の効率化など対応を進めている

石原（高）

教員の多忙化改善について、どのような取り組みが行われていて、今後、考えている取り組みはあるのか。

運動部活動への外部指導者の導入について、具体的な計画はあるのか。また、町内の小中学校

で取り入れている「コミュニティ・スクールと外部人材活用の整合性やバランスについて、どのように捉えているのか。

教育長

5月に「昭和町教員の多忙化改善対策委員会」を開催し、各学校に対して改善計画を策定することを指示した。

教育委員会としても主催の会議・調査等の効率化や校務支援システムの導入などを検討している。

中学校の運動部活動への外部指導者導入については、今年度2名の外部顧問を県に要求し、1名が認められた。来年度以降についても検討していく。

また今年度からは地域人材と学校の橋渡しを行うコミュニティ・スクールディレクターを設置した。

今後は、ボランティアとしての地域人材の活用を中心にコミュニティ・スクールを継続し、外部指導者は必

要な場合のみ活用していくことを考えている。

再質問

取り組みの検証や改善は誰がどのように行うのか。

学校教育課長

学校と教育委員会がそれぞれの改善計画を策定し、実行の段階では各学校の多忙化防止委員会での徹底したチェックをお願いしている。

評価は2月の対策委員会で、来年度の改善プランの策定を予定している。



新たに設置されたコミュニティ・スクールディレクター

既に実施している市町村の例を
参考に検討していきたい

文部科学省によると、2013年度は児童、生徒の6人に1人が就学援助を受けた。対象者は自治体によって異なるが、住民税の非課税世帯や児童扶養手当の支給世帯を対象にしているところが7割以上といわれている。

新聞報道によると、就学援助の入学準備金を入学前に支給する自治体の数は少なくとも158にのぼり、そのうち139は今春実施が来春実施予定である。

山梨県内でも甲府市や南アルプス市、上野原市、市川三郷町、富士吉田市などで入学前に支給しているが、昭和

河住

かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

町においても入学前に支給できないか。

教育長

昭和町では就学援助費について、「昭和町就学援助費支給要綱」に基づいて支給している。

入学準備金を3月に受給できれば、就学援助を受けている家庭にとって非常に良いが、受給者の決定が前年の所得で決まることから、仮に3月に支給するためには、前々年の所得で決定することが必要となる。

前年に所得が増加し対象から外れてしまった家庭には、戻入してもらうことが必要になったり、急な転出で3月の末に町外に住所が異動してしまった場合の戻入方法をどうするかなど、解決しなければならぬ課題が生じてくる。

今後、課題の解決方法を、県内市町村で既に実施している例などを参考に検討していきたい。

一般質問

再質問

既に実施している他市町村について調べたところはあるか。

学校教育課長

甲斐市においては基準を

就学援助の入学準備金を支給しています。



前々年の所得にしているが、直近の所得でないため、前々年は対象ではなかったが、前年では対象になるのに受給できない場合が考えられ、その点が問題だと感じている。



リニア環境未来都市への対応は

A

道路整備や市街化調整区域の開発などを検討していきたい



たなか ひろよし
田中 博愛 議員

山梨県が今年3月に整備方針を策定し、発表したリニア

町長

昭和町はリニア新駅へのアクセス道路や市街化調整区域の開発等により、町の発展につなげていけると考える。
町はリニア環境未来都市への対応について、どのように進めていくのか。
また、近隣の甲府市、中央市では既にリニア対策課が設置されていて、本町においてもリニア対策部門の新設が急務と考えるが、どう取り組んでいくのか。

田中

昭和町はリニア新駅へのアクセス道路や市街化調整区域の開発等により、町の発展につなげていけると考える。

町はリニア環境未来都市への対応について、どのように進めていくのか。

また、近隣の甲府市、中央市では既にリニア対策課が設置されていて、本町においてもリニア対策部門の新設が急務と考えるが、どう取り組んでいくのか。

A

地域での健診のさらなる充実が優先

Q

人間ドックの受診年齢の引き上げを

田中

人間ドックは、国民健康

また、本町はリニアの駅や走行路線がないため、用地買収や環境対策を行うことはなく、現段階ではリニア対策課の設置は必要ないと考えている。

本町では今後、リニア駅へのアクセス道路の整備や市街化調整区域を含めた町の将来都市構造を設定し、まちづくりの方針を定め、施策や事業へと進めたいと考えている。

ア環境未来都市の対象エリアは、リニア駅から半径4キロメートル程度とされ、中核となる駅周辺と、リニア通勤者などの生活や新たな産業の集積の場となる駅近郊とで構成されている。昭和町は駅近郊の中に町域の半分以上が該当する。

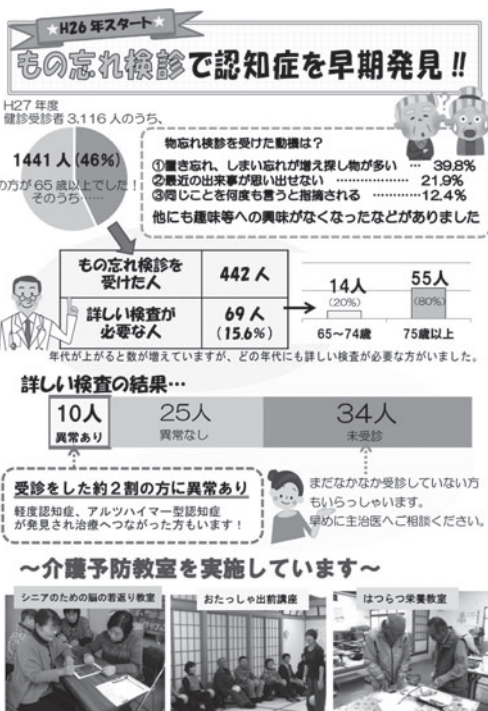
町長

保険は74歳までで限定600名、社会保険は35歳から65歳までで、5歳刻みで限定200名を対象としている。
100歳時代を迎えるにあたり、75歳以上の多くの方から受診年齢の引き上げの要請があるが、その考えはあるか。

人間ドックは本来、個人レベルで選択して受ける任意型の健診に位置づけられる。また、75歳以上の方では、慢性疾患等で通院している

方も多く、健診の必要性は若い世代に比べて低い。
昭和町では毎年、総合的な健診を実施していて、国が定める項目に町独自に10項目以上の検査を追加し、65歳以上の方には、県内初の「もの忘れ検診」も実施している。
今年度からは胃がんリスク検診も導入し、さらに精度の高い健診の実施に努めている。

まずは身近な地域での健診の充実を努めることを優先し、人間ドックの対象年齢の引き上げは慎重に考えていきたい。



もの忘れ検診チラシ

Q

子どもの貧困対策の強化を

A

教育、生活の支援などに 今後も引き続き取り組んでいく

厚生労働省によると、17歳以下の子どもの貧困率が2012年時点で16.3%と過去最悪を更新し、全国で6人に1人が貧困状態に置かれている。

なかでも深刻なのが、ひとり親家庭の子どもで、貧困率は2人に1人を超えている。

平成26年に閣議決定された子どもの貧困対策を総合的に推進するための大綱では、子どもの将来が生まれ育った環境に左右されず、貧困が世代を超えて連鎖することがないように、必要な環境整備を国を挙げて取り組んでいくとしている。

鷹野



鷹野 一雄 議員

また、この大綱に基づいて都道府県など地方公共団体は対策を検討する場の設置や対策計画の策定が求められている。

昭和町では、どのように子どもの貧困対策の取り組みを強化していくのか。

町長

国が作成した「子どもの貧困対策に関する大綱」に示された教育の支援、生活の支援、保護者の就労に対する支援、経済的な支援の4つについて、具体的に取り組んでいきたいと考えている。

教育の支援では、就学援助や奨学金制度の利用促進、無料で参加できる学力向上フォローアップ事業、町単教員の配置によるきめ細かな指導などを実施し、今年度からは全小中学校へのスクールカウンセラーの配置が実現している。

また福祉課では県と連携して、生活保護受給家庭や就学援助利用家庭の

子どもの貧困対策に関する 当面の重点施策

教育の支援

生活の支援

保護者に対する就労の支援

経済的支援

子どもの貧困に関する調査研究等

施策の推進体制等

再質問

子どもの貧困の地域別の詳細データは一切ないが、昭和町の子どもの何人が貧困状態にあるのか。

中高生の学習支援を行う「子どもの学習支援事業」を実施している。

今後も引き続き、子どもの貧困対策に取り組んでいきたい。

教育長

0歳から17歳までの貧困率について本町のデータはない。

山梨県では支援計画を策定する際の子どもの貧困率については、就学援助を受けている者の割合としている。

本町にあてはめると、3月の時点で小学生94人、中学生69人、計163人で、小中学校全体の9.3%が就学援助を受けていることになる。



子育て応援アプリの導入を



必要性を検討していきたい



かわだ あけみ 議員
河田 あけみ 議員

最近では核家族化やひとり親世帯の増加など、家族の形が多様化し、また共働きもあたり前の時代になり、子育てに対する不安や負担を重く感じる保護者も多いのではと感じる。

携帯電話の普及により、子育て世代ではスマートフォン利用が増え、気軽に情報を得られるようになつて保護者の不安感や負担軽減を図ることができるとされる「子育て応援(支援)アプリ」を導入する自治体が増えている。

県内でも既に富士河口湖町、南アルプス市でスタートし、今年度は甲府市や中央

河田

市でも導入が予定されている。

本町でもアプリ導入の検討、推進をすることを提案する。

町長

本町の母子保健における子育て支援の現状では、町のコンパクトさを活かし、子育て家庭と保健師の顔が見える関係が築けることが大きな強みだと思う。

子育てアプリやスマートフォンに頼らず、子育ての不安感の軽減や孤立化の防止ができることの方が、「子育てしやすいまち」につながるのではないかと考える。

コンパクトな町だからこそ町民との顔が見える関係性を大事にしていきたいと考えてるので、アプリの使用は近隣市の状況をみながら、今後、必要性を検討していきたいと考える。

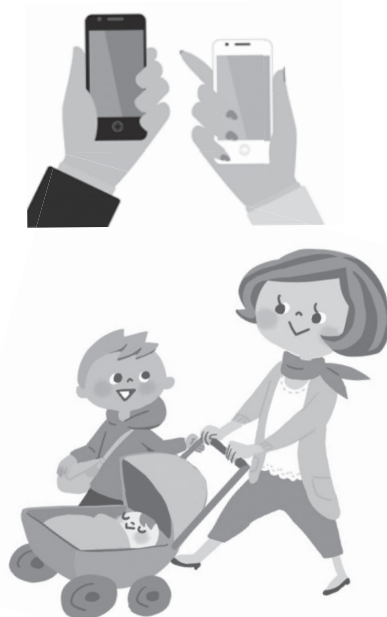
再質問

子育て応援アプリへの対応は今すぐには難しいようだが、子育て情報もいろいろ掲載されている町のホームページについて、スマートフォン版への対応を検討してはどうか。

企画財政課長

町のホームページのスマートフォンでの閲覧者は増えている。

現在、スマートフォン版への対応も考えているところである。



子育て応援アプリの活用を(画面図は世田谷区のアプリ画面)

現在の総合体育館駐車場が
最適な場所である

堀

粗大ごみの収集場所が町総合体育館の駐車場となつて4年が経った。

不法投棄の減少や経費の削減など良い部分もあるが、収集場所が遠くて粗大ごみを出しに行くのが大変、出せないという不満の声もある。

収集場所を1年が12カ月あるので、町内12地区で順番に回すことも考えられるが、必要な収集場所を確保できない地区や順番の混乱もあり得るので、押原地区、西条地区、常永地区の3地区で収集場所を順番に回していくことはできないか。

町内には大型のセレモニー



ほり もん た 堀 門太 議員

ホールの駐車場、工場や量販店の駐車場など、探せば広い場所はいろいろある。官民共同の時代の今、民間にも協力してもらえなものだと思う。

3ヶ月に一回でもいいので、近くに粗大ごみをだせることができるかと助かる、という高齢者の声があることを伝えておく。

早急に輪番制を導入すべてきだと思える。

町長

粗大ごみの収集場所を町内一箇所にしてから4年が経過して、町民に定着し、また粗大ごみ以外のごみの搬入や町外者の粗大ごみの搬入の解消、リサイクル業者の排除等の実績ができた。

粗大ごみの一括収集には広い場所が必要であり、早朝から昼過ぎまで自由に使える場所で、大型トラック等が動き回れる舗装された場所であることも必要である。

また、現在の収集場所の



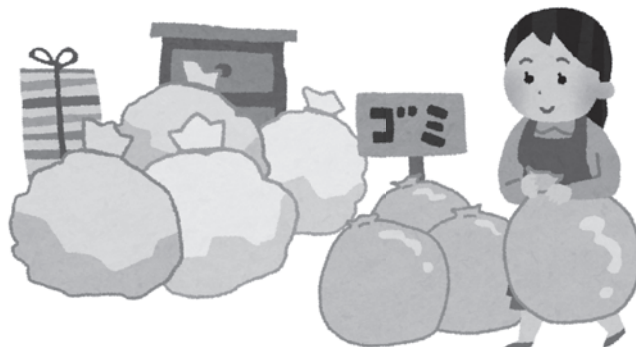
遠くて大変!!

総合体育館は町の中央にある。

3地区で収集場所を順番に回した場合、地区によつては現在の2倍の距離となることもある。

また、地区輪番制に変えると、今月ほどの地区に搬入すればよいのかわからなくなるなど、新たな混乱が生じられると思われる。

やはり町の中央に位置し、広いスペースが確保できる総合体育館の駐車場が最適であると思える。





昭和町の介護予防の体制は

A

町と地域包括支援センターを中心に重層的に展開している



いしはら かずよし
石原 一好 議員

石原(二)

将来のさらなる高齢化を見据えた中で、社会福祉協議会による独自のサービスの開発、実施が必要だ。

本町でもデイサービスが実施できるように幅広く育成、指導はできないか。

また、本町ではどのような介護予防の体制で行われているのか。

町長

介護保険制度がスタートした平成12年当初、町内にはデイサービス事業所は1カ所だったが、平成29年4月現在、8カ所にまで増えている。

人口規模から考えても、本

町では事業所数も受け入れ可能数も十分足りている状況にある。社協による新たなデイサービス事業は、地域のニーズが少ないといえる。

また、介護予防事業は、いきいき健康課の健康増進係、地域包括支援センターを中心に、福祉課や社会福祉協議会と連携のもと、重層的に展開されている。

昨年度からは国のモデル事業として、住民主体の介護予防である「百歳体操」にも積極的に取り組み、今年度からは地域包括支援センターがマネージメントして介護予防の推進を行っている。

昭和町は、要介護認定率が全国一低い山梨県の中でも、要介護2以下の認定率が27市町村中、5番目に低く、一連の介護予防の取り組みの成果が表れていると思う。

再質問

他の市町ではデイサービスを社協が行っているが、本町で行わなかった理由

由はなにか。

また、独自の福祉事業を新たに開発していく指導をする考えはあるか。

福祉課長

他の福祉施設に委託していたことや、社協は介護保険の対象にならない方の支援サービスの担い手としての期待が大きかったことが、デイサービスを行わなかった一番の理由だと思う。

地域福祉の増進に社協の活躍は不可欠であり、今後、社協の自主自立が進むよう、連携をとりながら指導していきたい。

再質問

今後、介護予防を行うには一つの係を設けて大々的に行っていく必要があると思うが、どのように考えているのか。

いきいき健康課長

介護予防事業は対象者の健康レベルに合わせて多

「いきいき百歳体操」



阿原100才元気クラブのみなさん



ピンコロクラブ上河東のみなさん

様な働きかけが求められるもので、個別、集団支援を組み合わせて行っている。また、生き甲斐づくりも介護予防の一つであり、非常に幅広く重層的な仕組みなので、一つに集約して行っていくのは難しく、いろいろな部署が連携して取り組む方が効果的と考えている。

広域事務組合議会報告

甲府地区広域行政事務組合議会 報告

日 時：平成29年3月29日(水)

報告議員：三井 猛・田中 博愛
(3市1町で構成)

予算概要：平成29年度一般会計当初予算…5,422万9千円

その他平成29年度特別会計…37億6,002万8千円

合計…38億1,425万7千円

【そのうち昭和町の負担金…2億2,883万1千円】

※補正予算、条例、その他も議決

中巨摩地区広域事務組合議会 報告

日 時：平成29年3月30日(木)

報告議員：河田 あけみ・依田 茂巳
(3市3町で構成)

予算概要：平成29年度一般会計当初予算…4,179万9千円

その他平成29年度特別会計…15億2,300万千円

合計…15億6,479万9千円

【そのうち昭和町の負担金…1億5,204万1千円】

※補正予算、条例、その他も議決

三郡衛生組合議会 報告

日 時：平成29年3月30日(木)

報告議員：樋口 敏夫・葉袋 義久
(2市3町で構成)

予算概要：平成29年度一般会計当初予算…2,072万8千円

その他平成29年度特別会計…4億2,190万9千円

合計…4億4,263万7千円

【そのうち昭和町の負担金…2,691万円】 ※補正予算、条例、その他も議決

山梨県後期高齢者医療広域連合事務組合議会 報告

議会開催はありませんでした。

報告議員：中澤 康夫
(県下27市町村で構成)

**5月臨時会において広域事務組合議会議員の構成が変わりました!!
新体制で頑張ります!!**

甲府地区広域行政事務組合議会議員

塚原 將司・依田 茂巳

中巨摩地区広域事務組合議会議員

遠藤 辰男・金丸 富一

三郡衛生組合議会議員

石原 高明・石原 一好

山梨県後期高齢者医療広域連合事務組合議会議員

三井 猛

追跡



あの一般質問は どうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているかを追跡・検証してみました。

追
跡

昭和町地区 担当職員制度について

平成 28 年 3 月議会 質問者：石原 高明議員

問

この制度は全国的にもあまり例がなく、経常的に区と行政の関係性を高める制度のため、効果がなかなか見えにくく、改善を行っているとのこと。

係長職のスキルアップ等にも活用されるため、これから制度の充実を図りたいとのことだったが、今後どのように取り組んでいくのか

その後

制度開始から5年を経過し、一定の成果は見られたが、区長会や、係長会議でのアンケート調査をもとに、制度の見直しが必要とのことから、29年3月に制度を休止する。

地域への説明等については必要に応じ、行うことを考えている。

ようこそ昭和町へ・・・

★青森県おいらせ町議会

日時：平成29年5月16日(火)午後1時30分～

対応：議長・副議長・議会運営委員長・3常任委員長・前議長

- 内容
- ・議会活性化への取り組みについて
 - ・住民に開かれた議会について
 - ・これまでの議会改革や見直し等の事例について





議員記者が行く!のテーマは「町を守る」。町内で活躍する皆様にスポットを当て、活動の姿を追っていきます。今回は昭和町ホタル愛護会会長の浅川武男さんを取材しました。

Q 源氏ホタル愛護会とはどんな組織ですか?

A 昭和町の象徴は源氏ホタルです。都市化の進む本町で、かつてのような源氏ホタルの復活を願う町民が自発的に集まり活動を続けてきた組織です。



しょうわ保育園 園児によるホタル放流式



ホタル愛護会 総会

Q 主な活動は?

- A
- ①ホタルの人工ふ化と幼虫の飼育
 - ②ホタル保護ゾーンの設定と環境整備活動
 - ③ホタルの幼虫放流可能地の調査、選定
 - ④幼稚園児や関係者によるホタル幼虫の放流式の開催
 - ⑤ホタル観賞会(ホタル夜会)の実施等
 - ⑥昭和町の源氏ホタルの歴史を伝えていく諸事業等

Q これからの活動と課題

A 出来るだけ多くの幼虫を育て成虫になるまでの環境の良い適地を探し放流していく予定であります。放流は河川や池ですが私有地にかかることも多く地権者に迷惑のかからないよう心掛けています。また蛍は背光性でかつ繊細な昆虫で成虫になる確率は低くどう確率を上げていくのが今後の課題です。



ホタル愛護会 役員会



会長へのインタビュー

Q 会長さんとして町の皆さまに伝えたいことは?

A 昭和町の歴史を語るとき源氏ホタル抜きには語れません。ホタルの人工飼育はなかなか思うようには行きませんが何とか「ホタルの里」の復活をめざし愛護活動をつづけ新旧住民の融和の象徴としてのホタルを守っていきたいと思っておりますので町民のご理解とご協力をお願い申し上げます。

ホタル愛護会からのお願い。 ○ホタルに関する古い写真資料がありましたら生涯学習課まで連絡いただけると幸いです。

議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

 空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- ①新議会構成決まる! 新議長 名前は〇〇〇〇!
- ②一般質問ここがききたい! 今定例会の質問者数は〇人!
- ③議員記者が行く! 〇〇〇愛護会へ取材!



ヒント

議会だより
174号(この号)を
読んでください

No.173 に対する
前回のお葉書で

こんなご意見をいただきました!

議員の皆様方には町民のために
御尽力なされていること
ありがとうございます
これからもよろしくお願い
いたします。

(77歳・女性)

町長さんの所信表明
への
6つの施策
を読み希望あふれる新年度の
思いが充分伝わりました。
昭和町に住んでいて良かった
と思います。

(80歳・女性)

展望タワーで観光振興を
提案された議員さんがお
られましたが、展望タワー
だけの収入で建設のため
の借金を払いきれなか
いでしょうか。昭和町は、
取り立て一大観光地とし
ての役割はありませんが、
もっと先に税金の使い道
があると思います。タワー
の建設には反対です。

(57歳・女性)

議会だより、最優秀賞おめでとうございます。
これからも町民に愛される広報を大変
ですが作ってください。活躍を祈ります。

(74歳・男性)

【応募方法】

- ①クイズの答え ②住所 ③氏名(ふりがな)
④年齢 ⑤議会だよりを読んだ感想
を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送り
ください。議会だよりへの要望・意見等もありまし
たら、お受けいたします。

【あて先】

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
●FAX:055-275-0370
●メール: gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp
《しめきり》 8月末日消印有効



お詫びと訂正

議会だよりしょうわ173号の記載に誤りがありました。
田中 博愛議員の質問のページについて、
誤「市街化調整区域の拡大を」 正「市街化区域の拡大を」です。
大変申し訳ありませんでした。



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

昭和町に

Vol.37

住んでみて

住みやすい街



西条一区
諸貫 務さん

東京からUターンで山梨に戻り、社宅が昭和町でした。

その後、西条一区に家建て16年が過ぎました。その間に大型ショッピングセンターやコンビニ、飲食店、医療機関など次々とできにぎやかで便利な町になりましたが田植の季節には蛙が夏にはセミが秋には虫の音がと自然も豊かに残っています。

昨年から地区の常設で体育部長の役をさせていただいており、地区の運動会では沢山の区民の皆様に参加していただき無事開催することができました。その中で色々な方との横のつながりをもてた事は私にとって大きな財産となりました。

又、私はサッカーの指導者を永くしております。昭和町には押原公園という他の市町村には無い天然芝と人工芝が併設された立派なサッカーグラウンドがあり、よくキッズフリースタイルや講習会などで子供達とボールを追いかけのるに使用させていただいております。

近年は少子化の影響でサッカーのみならず色々なスポーツをやる子供達が減っている様ですが、昭和町は今後10年、人口の増加が見込まれている様で、これは、全国的にも上位に入るとの話を聞いております。生活しやすく、自然も豊かな昭和町に多くの人に住んでいただき、子供も増え、すばらしい芝のグラウンドで、一緒にサッカーができる幸せを期待しています。

変わらない地域の姿



上河東二区
廣瀬 はるみさん

結婚と同時に昭和町に引っ越して三十一年になります。常永小の開校、町営住宅の建て替え、イオンモールの開店など、窓から見える景色は変わり、吹く風も当時より弱まり、心なしか暑くなつたように感じます。

変わりゆく地域の姿の中に、変わらないものがあります。転入してきてから半年後、地域の様子も知らないまま、愛育会の班員を引き受けることになりました。当時は二年任期で、妊娠中初めての子育てで、毎日が戸惑いの連続でした。そんな中、隣の組の班員さんが「あなたは今一番大変な時期だから、私がお手伝いするよ。自分の子育てを大切にしていね。できるときが来たら地域のお世話をしてくれればいいのよ。」と、声をかけてくれました。ご近所の方も事あるごとに声をかけてくださり、まだ若かった私は、その声かけがとてもありがたく感じました。

そして、子育てが一段落した後、見守ってくださっていた地域の方々へのお礼として、地域の役員を引き受け、愛育会からいただいた「声かけ」を実践しているつもりです。

地域を見る目、あいさつの声、おしゃべりする笑顔。当時からずっと変わらない地域の姿です。

平成28年度 議会広報コンクール町村の部 最優秀賞受賞!!

今回議会だよりしょうわ171号が議会広報コンクール町村の部において、最優秀賞を受賞し、7月3日(月)自治会館にて表彰を受けました!

常に、町民の皆様が読みやすく、議会活動や議会改革が一目でわかるよう、先進地視察や研修を通じ研鑽を積んできました。その成果が認められ、とても誇らしく感じると共に、町民や関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

委員長 石原高明



広報編集特別委員会

委員長 石原 高明
副委員長 堀 門太
委員 林 和仁
金丸 富一
石原 依田
一好 茂巳

議会を傍聴しませんか

次回定例会は6月6日(水) 開催予定です
議会事務局 ☎27-5-8842